
 記 事

例会記録

日本医史学会 11 月例会

シンポジウム：医学教育史研究／古今と東西

平成 27 年 11 月 28 日 (土)

順天堂大学 10 号館 1 階 105 カンファレンスルーム

- 江戸時代地方藩医の医学教育～米沢藩の事例を中心に 海原 亮 (住友史料館)
- 18 世紀以前の医学教育における医学理論と医学実地 坂井建雄 (順天堂大学医学部)

- 日本における外科のあけぼの——その余話

日本医史学会：森岡恭彦

- 三重県の本草学者・丹波修治

日本薬史学会：河村典久

- 「義犬」の歴史と動物愛護史

日本獣医史学会：小佐々学

- 石濱義則——治安維持法違反で広島刑務所服役中に被爆したクリスチャン歯科医——

日本歯科医史学会：樋口輝雄

 日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・
 日本歯科医史学会・日本看護歴史学会・洋学史学
 会合同 12 月例会

平成 27 年 12 月 12 日 (土)

順天堂大学医学部センチュリータワー 16 階北フロア

- 同志社と看護教育——京都看病婦学校の足跡から—— 日本看護歴史学会：岡山寧子
- 佐賀薬種商野中家所蔵解剖書について 洋学史学会：青木歳幸

日本医史学会 1 月例会 平成 28 年 1 月 23 日 (土)

順天堂大学医学部センチュリータワー 16 階北フロア

- 精神科医療の戦後 70 年 岡田靖雄
- 『医心方』にみる王朝の秘薬とその解毒法 槇佐知子

例会抄録

お玉ヶ池種痘所五人衆の足跡をもとめて

深瀬 泰旦

1978 年にはじめてその名前を耳してから、それまでまったく歴史の表舞台に登場していなかった手塚良仙という医師の業績をもとめておおくの文献を渉猟してきた。しかしその道のりは決して平坦なものではなく、どれほどの成果がえられるか皆目見当がつかないままの出発であった。いろいろな文献をよんで、手塚という医師の名があればそれをノートに留めておくという作業をつづ

けた結果、常陸府中藩に 3 名の手塚良仙をみいだし、これが親良仙光行、子良仙光照、孫良仙光亨の関係にあることも判明した。

これと平行して研究を進めたいた、江戸市中にすむ蘭方医や漢蘭折衷医の協力により、安政 5 年 (1958) に江戸の神田お玉ヶ池に種痘所が建設されるにあたって 82 名の医師たちの拠金によるものであるという通説が、単純な誤植に端を発して